

令和4年度東近江市中心市街地活性化基本計画の定期フォローアップに関する報告

令和5年5月

東近江市（滋賀県）

○計画期間：令和4年4月～令和9年3月（5年間）

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 令和4年度終了時点（令和5年3月31日時点）の中心市街地の概況

令和4年4月から新たに5年間の中心市街地活性化基本計画を策定し、「暮らしたい 訪れたい 商いしたいまちの創造」を基本理念に掲げ、前計画の成果を継続しながら、新たな取組を充実させていくこととした。現状としては、目標指標の数値は当初よりも上昇しており、一定の成果が出ている状況である。

特に、平成29年度から実施していた官民連携事業による八日市駅前の市有地に観光交流機能、オフィス、分譲マンションを併設した複合ビルが令和5年3月に竣工した。今後、中心市街地内での拠点機能をもつ近江鉄道八日市駅前のシンボリックな存在としてにぎわいの創出に寄与することや、分譲マンションとして居住空間を創出し、通行量及び消費の増加につながっていくことを想定している。

一方で、課題として中心市街地内での空き店舗の活用が進んでいない部分がある。空き店舗の情報を集め、地権者と出店者とのマッチング等を実施していくことや、中心市街地への居住をさらに促進していく必要がある。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

(1) 居住人口

(基準日：毎年度1月1日)

（中心市街地 区域）	令和3年度 （計画前年度）	令和4年度 （1年目）	令和5年度 （2年目）	令和6年度 （3年目）	令和7年度 （4年目）	令和8年度 （5年目）
人口	7,490人	7,525人				
人口増減数	▲35人	35人				
自然増減数						
社会増減数						
転入者数						

(2) 地価（中心市街地住宅地）

(単位：円/㎡)

	令和3年度 （計画前年度）	令和4年度 （1年目）	令和5年度 （2年目）	令和6年度 （3年目）	令和7年度 （4年目）	令和8年度 （5年目）
東近江市八日市町 157番7	51,400	50,200				
東近江市八日市 緑町34番2	58,900	59,100				

(3) 地価 (中心市街地商業地)

(単位: 円/m<sup>2</sup>)

	令和3年度 (計画前年度)	令和4年度 (1年目)	令和5年度 (2年目)	令和6年度 (3年目)	令和7年度 (4年目)	令和年度(5 年目)
東近江市八日市 東浜町432番外	77,000	76,800				
東近江市八日市 本町613番	84,000	83,500				
東近江市東中野町 235番5	59,700	59,500				

2. 令和4年度の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

同協議会では、各事業の事業進捗の報告及び意見交換、中心市街地活性化に向けたセミナー実施を取り組んだ。

令和4年度の取組で八日市駅前市有地活用事業(駅前広場整備)について、駅前広場に周辺案内等がないので、分かりやすい工夫をすべきという意見が出た。また、観光交流施設整備運営事業について、指定管理者の採算状況を報告して欲しいとの意見が出た。

意見交換を行う中では、中心市街地では様々なイベントを実施しているが、担い手の高齢化が進んでおり、若い人を集めるのも課題であるとの意見もあった。

今後も、協議会として基本計画に定められた各種事業の内容協議と進捗管理を中心に、まちの賑わい創出に向けた総合的な調整や協議を進めていくことが確認された。

## II. 目標ごとのフォローアップ結果

### 1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	基準値からの改善状況	前回の見通し	今回の見通し
豊かな暮らしを実感できるまち	中心市街地の居住人口	7,525人 (R2)	7,650人 (R8)	7,525人 (R4)	B	—	①
歩いて楽しい日常的なにぎわいのあるまち	日中時間帯の歩行者・自転車通行量	9,603人 (R2)	10,550人 (R8)	9,561人 (R4)	C	—	①
多様な店舗やオフィスが集積する商業のまち	八日市駅周辺及び商店街の営業店舗・事業所数	247店舗・事業所 (R2)	250店舗・事業所 (R8)	249店舗・事業所 (R4)	B	—	①

<基準値からの改善状況>

A：目標達成、B：基準値より改善、C：基準値に及ばない

<目標達成に関する見通しの分類>

①目標達成が見込まれる ②目標達成が見込まれない

※関連する事業等の進捗状況が順調でない場合はそれぞれ1、2とする。

### 2. 目標達成見通しの理由

「中心市街地の居住人口」については、基準値と同値となった。住まいる事業における住宅取得補助の活用増加や民間事業者による住宅開発等により、前年度比では数値が改善しており、居住者は増加傾向にある。令和5年3月には複合ビルが完成し、分譲マンションへの入居者も増加するため、目標達成が見込まれると評価した。

「日中時間帯の歩行者・自転車通行量」については、基準値に及ばなかった。平日は基準値を上回ったが、休日が例年よりも気温が低かったことで、通行量が減少したものと考えられる。しかし、前年度の9,014人よりは改善しており、また、今後も「まちなかキャンパス整備事業」や「観光交流施設整備運営事業」などを進めていくことで、目標達成が見込まれると評価した。

「八日市駅周辺及び商店街の営業店舗・事業所数」については、基準値より改善となった。「中心市街地商業等空店舗再生支援事業」、「中心市街地テナントミックス事業」等の効果による新規出店や八日市駅前の宿泊施設の宿泊客をターゲットにした新規出店が増加していることで、営業店舗・事業所の閉鎖はあるものの、現状は出店数が上回っており、各種事業の効果もあり、目標達成が見込まれると評価した。

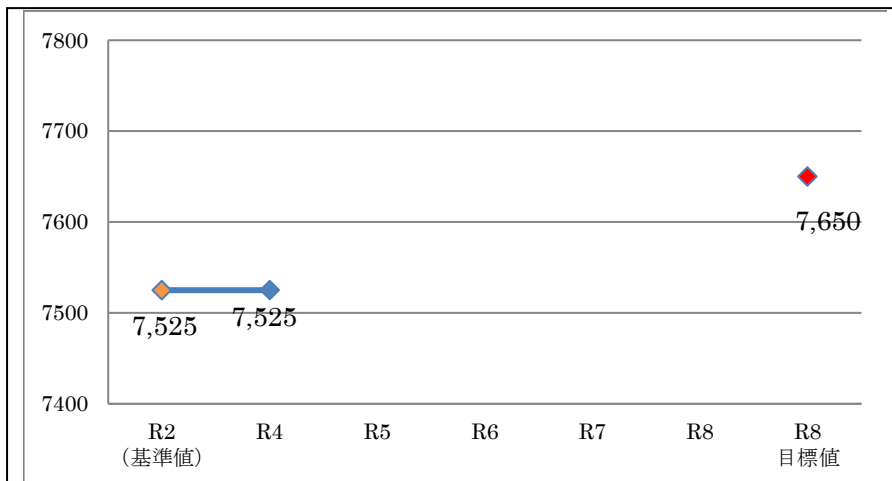
### 3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

前回フォローアップは実施していない。

#### 4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

(1) 「中心市街地の居住人口」 ※目標設定の考え方は認定基本計画 P. 89～P. 91 参照

##### ●調査結果と分析



年	(人)
R2	7,525 人 (基準年値)
R4	7,525 人
R5	
R6	
R7	
R8	7,650 人 (目標値)

※調査方法：住民基本台帳登録人口

※調査月：毎年1月1日現在

※調査主体：東近江市

※調査対象：中心市街地の住民基本台帳登録人口

##### 〈分析内容〉

中心市街地内における人口の増加は基準年値と比較すると横ばいである。住まいる事業等で新しく居住される世帯も増えているが、同時に出ていく人数も多いことが要因として考えられる。しかし、令和5年3月に八日市駅前に分譲マンションを併設したマンションが順次入居を開始しており、居住人口の増加が見込まれることから目標の進捗には問題ないものと考えられる。

##### ●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 八日市駅前市有地活用事業（東近江市、東レ建設株式会社、八日市商工会議所）

事業実施期間	平成29年度～【済】
事業概要	八日市駅前の市有地に観光交流機能、八日市商工会議所のオフィス、分譲マンションを併設したビルを整備し、居住・商業・交通結節点として利便性向上を図る。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】110人 【最新値】人 当該事業は当初の計画通りに進捗し、令和5年3月にマンション（44戸）の整備が完了した。3月以降に順次入居を開始するため、事業効果は算出できない。
事業の今後について	令和5年3月から順次入居が開始することで、居住人口の増加に寄与すると想定される。

②. 住まいる事業（東近江市）

事業実施期間	平成 28 年度～【実施中】
事業概要	本市へのUターン者又は中学校修了前の子供がいる40歳未満の子育て世帯が新築・中古住宅を取得した場合に取得費の一部を補助する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】100人 【最新値】30人 当該事業による家賃補助は令和4年度に12件の活用があったが、目標値を設定した際の見込み8件/年を上回っている。補助制度について、市街居住者へ積極的に情報発信を行ったことで、補助制度自体の認知度が上がったことが要因と考えられる。
事業の今後について	利用実績は順調に推移している。今後も活用の促進に向けて、引き続き情報発信等に注力し、い、居住人口の増加につなげていく。

③. 空家等活用モデル事業（東近江市、自治会、市民活動団体）

事業実施期間	平成 28 年度～【実施中】
事業概要	地域の活性化に資する先進的なモデルとなる空家等の活用に対し、改修費の一部を補助する。
国の支援措置名及び支援期間	空き家等総合支援事業（国土交通省）（平成 28 年度～）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】13人 【最新値】0人 最新値0人となり、中心市街地内で活用できる空家が少なかったことが要因として考えられる。
事業の今後について	、空家の情報をより集め、他機関とも連携しながら、引き続き事業を実施していく。

④. 移住推進団体奨励事業、移住推進ツアー、婚活支援事業補助金（東近江市）

事業実施期間	平成 30 年度～、平成 28 年度～、令和元年度～【実施中】
事業概要	「移住推進団体奨励事業」 市内で働き、市内で活動する移住者の計画的な受け入れに取り組む市内に活動の拠点を置く、スポーツ、文化、まちづくり団体等を奨励する。 「移住推進ツアー」 市外から新たな地域の担い手の移住を推進するため就農、空家活用、企業などをテーマに移住後の暮らしを体験できるツアーを開催する。

	「婚活支援事業補助金」 民間事業者等が出会いの場を創出するイベントに対し、必要な経費の一部を補助する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】13人 【最新値】0人 最新値は0人となったが、ニーズに沿った場所等がなかったこと要因として考えられる。
事業の今後について	住まいる事業や八日市駅前市有地有効活用事業を周知する等、他事業と連動して事業を実施することで居住人口増加に結び付ける。

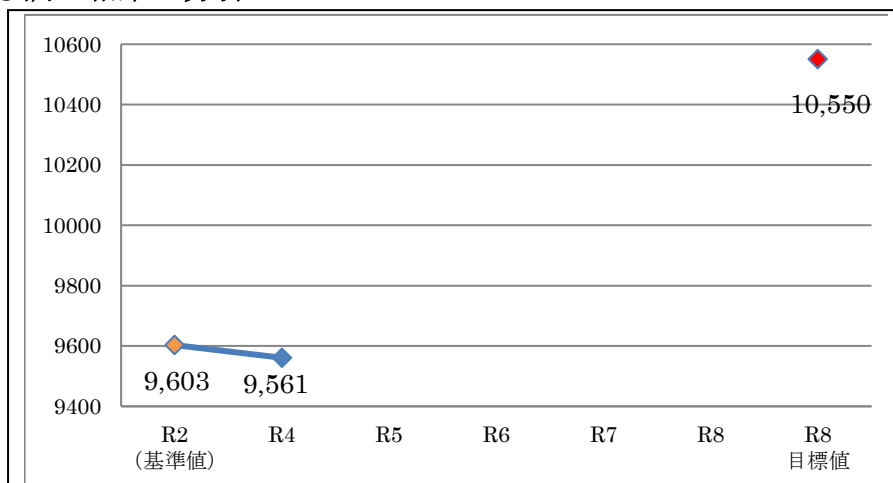
### ●目標達成の見通し及び今後の対策

居住人口の増加については、主要事業は概ね順調に進捗しており、前述の八日市駅前市有地有効活用事業の複合ビルが令和5年3月に竣工し、3月以降入居が開始することから、中心市街地内の人口は増加していく見通しである。

今後は、空き家活用の取組みや移住推進の実施により、転入者の増加を加速化させるとともに、暮らし続けたいと思える良好な環境を整備することで、さらに中心市街地居住人口の定着を図りたい。

(2)「日中時間帯(午前9時から午後5時まで)の歩行者・自転車通行量」※目標設定の考え方は認定基本計画 P.95～P.98 参照

●調査結果と分析



年	(人)
R2	9,603 人 (基準年値)
R4	9,561 人
R5	
R6	
R7	
R8	10,550 人 (目標値)

※調査方法：日中時間帯(午前時から午後時まで)の歩行者・自転車通行量調査

※調査月：秋(11月)の平日、休日

※調査主体：一般社団法人八日市まちづくり公社

※調査対象：歩行者・自転車通行量(平日、休日)5地点



(単位：人)

	令和2年度 (基準年)	令和4年度 (1年目)	令和5年度 (2年目)	令和6年度 (3年目)	令和7年度 (4年目)	令和8年度 (5年目)
八日市駅前広場前	984	1,056				
ピアガーデン前	5,157	5,505				
太子ホール前	778	643				
八日市図書館前	1,664	1,423				
東近江市役所前	1,020	934				
合計	9,603	9,561				

### 〈分析内容〉

令和4年度の数値は基準値を下回ったが、地点ごとに増減がある。八日市駅前周辺の増加は大型商業施設がリニューアルオープンしたことや定期的なキッチンカーの出店が要因として考えられる。また、令和3年度は9,014人であったことを踏まえれば、通行量は順調に推移していると考えられる。

### ●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

#### ①. まちなかキャンパス整備事業（八日市商工会議所、学校法人藍野大学）

事業実施期間	令和2年度～【実施中】
事業概要	八日市商工会議所の事務所移転に伴い、現会館に大学のキャンパスを整備し、まちなかで若者の往来を促す。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	当該事業は大学の開校が令和6年度からのため事業効果は測定できない。
事業の今後について	令和5年度に八日市商工会議所の前会館を整備し、令和6年度開校を予定している。

#### ②. 観光交流施設整備運営事業（東近江市）

事業実施期間	令和3年度～【実施中】
事業概要	八日市駅前に整備する複合ビルに観光交流機能を整備し、駅利用者や観光客、地域住民等が各方面から気軽に訪れることのできる空間を提供する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	当該事業は施設のオープンが令和6年度からのため事業効果は測定できない。
事業の今後について	びわこジャズフェス等の様々なイベントと連携しながら施設の運営を円滑に進めていく。

#### ③. 大規模商業施設再整備事業（東近江市）

事業実施期間	平成29年度～【済】
事業概要	中心市街地の大規模商業店舗において、グリーンロードに面している部分の歩道と一体的な利用ができるような施設壁面の開放、子育て世代のニーズに応えるキッズスペースの再整備、空店舗スペースについて、魅力的な店舗の誘致やセミナースペース等への再整備、公共施設との連携検討等、大規模商業店舗を更なる集客拠点にする。
国の支援措置名	国の支援措置なし



及び支援期間	
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】181人 【最新値】187人 当該事業は当初の計画どおりに進捗し、令和4年10月に完了した。再整備の効果もあり、本施設前の八日市駅前広場前、ピアガーデン前の通行量は増加している。
事業の今後について	事業が完了し、周辺の通行量も増加している。今後は施設と連携して、イベント等を実施することで、集客、にぎわいの創出を図る。

④. 八日市駅前市有地活用事業（東近江市、東レ建設株式会社、八日市商工会議所）

事業実施期間	平成29年度～【済】
事業概要	八日市駅前の市有地に観光交流機能、八日市商工会議所のオフィス、分譲マンションを併設したビルを整備し、居住・商業・交通結節点として利便性向上を図る。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】110人 【最新値】人 当該事業は当初の計画通りに進捗し、令和5年3月にマンション（44戸）の整備が完了した。3月以降に順次入居を開始するため、事業効果は算出できない。
事業の今後について	令和5年3月から順次入居が開始することで、居住人口の増加に寄与すると想定される。

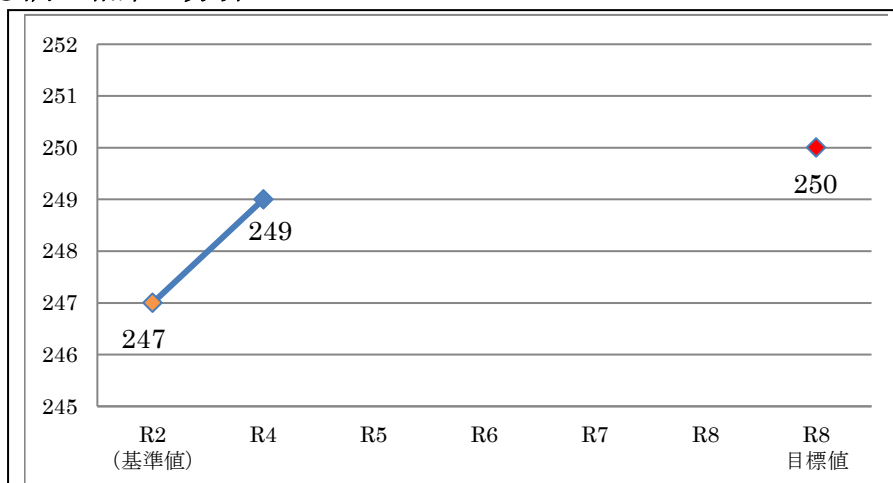
●目標達成の見通し及び今後の対策

近江鉄道八日市駅周辺の整備が進んだことで、駅前周辺の歩行者・自転車通行量は増加しており、目標達成は可能だと思われる。

今後は、新たに整備した八日市駅前観光交流施設を有効的に活用し、ウォーカブル推進事業の実施により様々な人を各観光拠点に誘導することや、中心市街地内の回遊性を高めることで地区全体へも効果を波及していく。

(3)「八日市駅周辺及び商店街の営業店舗・事業所数」※目標設定の考え方は認定基本計画 P. 99～P. 100 参照

●調査結果と分析



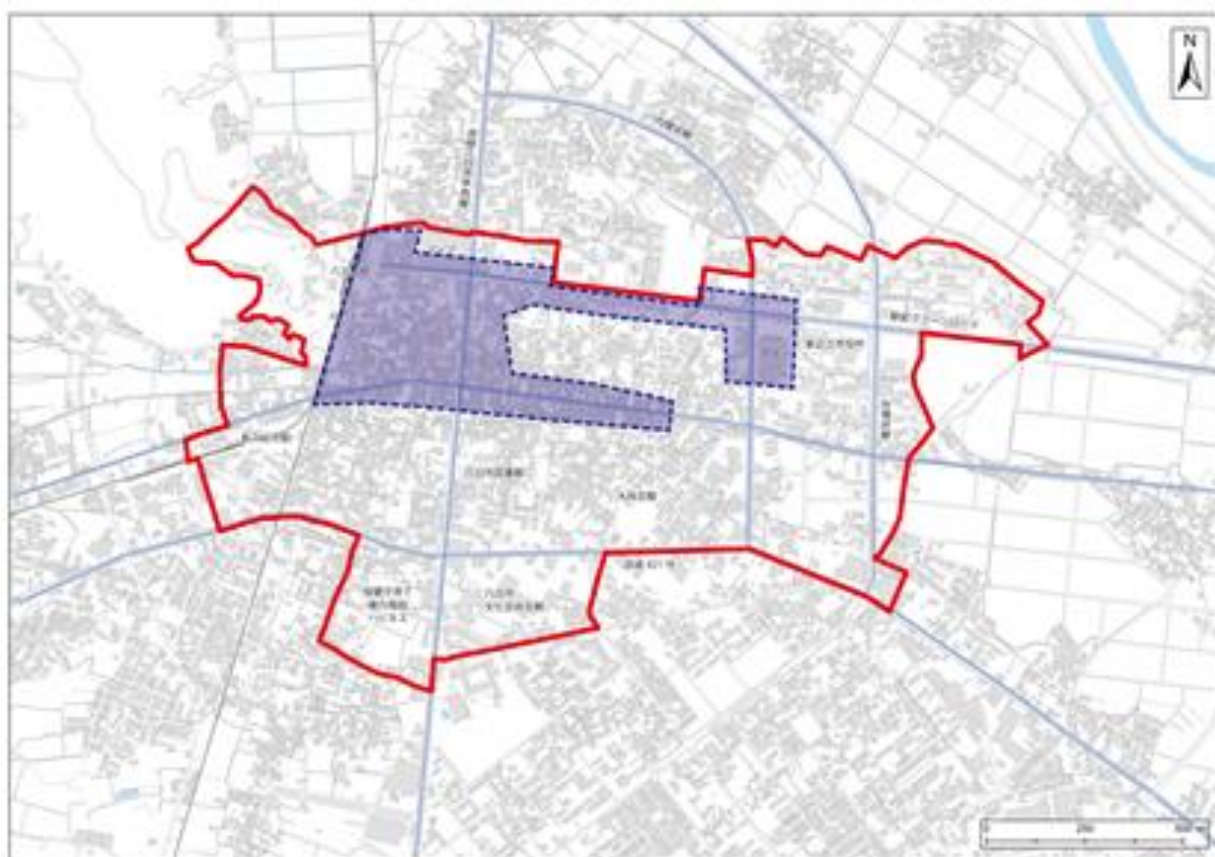
年	(店舗)
R 2	247 店舗 (基準年値)
R 4	249 店舗
R 5	
R 6	
R 7	
R 8	250 店舗 (目標値)

※調査方法：現場確認による新規、空店舗調査

※調査月：毎年3月

※調査主体：一般社団法人八日市まちづくり公社

※調査対象：八日市駅周辺及び商店街の営業店舗・事業所数



〈分析内容〉

八日市駅周辺及び商店街の営業店舗・事業所数は基準値から改善している。特に八日市駅前周辺での飲食店の新規出店が増加しており、大型商業施設の再整備や大型宿泊施設ができ、周辺の通行量が増加したことで、飲食店の需要が高まっていると考えられる。今後も順調に推

移していくものと考えられる。

## ●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

### ①. SATSUKI-RO 活用事業（一般社団法人八日市まちづくり公社）

事業実施期間	令和2年度～
事業概要	中心市街地のにぎわいを生み出す交流拠点を目指すとともに起業を志す人々がステップアップできる環境を創出するため、八日市駅前のまちづくり公社が所有する古民家をコワーキングスペースやシェアオフィス等の機能を持った施設に改修し活用する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】8店舗・事業所 【最新値】2店舗・事業所 当事業の施設を改修したことで、施設内の事務所スペースに2店舗の新規出店があった。
事業の今後について	施設内のコワーキングスペースやレンタルキッチンを活用することで起業を促進する。

### ②. 中心市街地商業等空店舗再生支援事業（東近江市、民間事業者、（一社）八日市まちづくり公社）

事業実施期間	平成29年度～
事業概要	八日市駅周辺及び商店街区域において、空店舗を活用して新規出店する事業者に対し改修費（増改築工事含む）を助成（対象経費の1/2助成上限300万円）する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和4年4月～令和9年3月）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】10店舗・事業所 【最新値】1店舗・事業所 中心市街地内で実際に活用できる空店舗数自体が少ないことや改修してまで使う空店舗が少ないことが要因として考えられる。
事業の今後について	新規出店者に向けてのアプローチや各種関係団体との連携による対象者の掘り起こしなどにより活用実績を積み重ねていく。

## ●目標達成の見通し及び今後の対策

各種事業を行ったことで、飲食店の新規出店ニーズに対応できている状況である。今後は空店舗もより活用できるよう地権者と出店者とのマッチング等を実施していくことや、飲食店以外でも新規事業を始められるような環境を整えていく。

